



だんだん蒸し暑くなって来ましたね。6月号の「そしきクンが行く!」は、旭川市内「北地区会」が担当する第3弾だよ。今月号は、建設関連業の2社にスポットを当ててみたよ。公共事業の減少等の厳しさの中で、どんな工夫をしているのかな? これからに向けての熱き思いを、たっぷり聞いてきました!

及川建設(株)

代表取締役
及川 孝司さん

所在地 / 旭川市末広2条2丁目6-9 電話 / 0166-51-0611
FAX / 0166-51-0623

企業データ

設立 / 1966年4月 資本金 / 1000万円
従業員数 / 8名 入会 / 1989年5月
紹介者 / (株)高嶋商会 高嶋 伸良さん

業務内容

宅地見物取引業、建築士事務所、インテリア設計事務所、建設工事、土木工事、とび土工、コンクリート工事

主力商品・サービス

インテリア用品、建築資材、土木資材の販売、注文住宅、外構工事、ロードヒーティング工事、土地建物の売買、仲介、不動産管理

創業明治36年。106年企業、まだまだ躍進中!



Q3:御社のビジネスの転機とは?

平成7年に代表取締役に就任して以来、官公庁を主体に仕事をしてきましたが、これからは原点に戻り、民間工事も手掛けていこうと思っています。

Q4:御社のこれからの抱負や目標をお聞かせください

今までは、土木、建築工事を主にしていましたが、会社自体は土地建物の売買、仲介、不動産管理、広告用品の図案設計、土木、建築資材の販売、アクセサリ、皮革製品、衣料品、化粧品、日用雑貨品、日用大工用品の販売なども手掛けているので、今後は社会のニーズに合わせた商売をしていこうと思っています。

Q1:趣味はなんですか?

無芸無趣味ですが、楽しいことは何でも趣味にします。

Q2:御社の魅力とは?

または御社にお仕事をお願いするとどんないい事がありますか?

明治36年、及川源左衛門が及川組を創設し、先代及川信吉が昭和41年に及川建設として設立。昭和56年に及川建設株式会社にし、現在に至っています。諺にある、「ゆりかごから墓場まで」をモットーに、土地の斡旋から建物の設計施工、インテリア調度品のコーディネート、土地、建物の登記まで一貫してお客様に提供している会社です。

そしきクン(取材者)よりひと言

106年目を迎えた企業のトップとして、守らなければならない立場や重責は大きいと思います。今なお業界の低迷が進む中で、若き時代のいろいろな経験が役立ち、「信頼と安心をモットーに、一度お取引したお客様とは一生の付き合いができる仕事をしたい」と語っていました。また「仕事に対する思いを解っていただけるお客様と取引をしたい。だから、過去に売掛金を発生させた仕事は一度もない」と迫力たっぷりに語る社長がとても印象的で、とても勉強になりました。改めて、社長には忙しい中お時間をとっていただき、感謝しております。

(有)ドルフ 代表取締役 古田 秀敏

勝美建設工業(株)

写真左:代表取締役社長 釜土 安平さん

写真右:代表取締役専務 宮村 佳明さん

所在地 / 旭川市東鷹栖東3条2丁目5032-3

電話 / 0166-57-8001 FAX / 0166-57-8002

企業データ

設立 / 1979年5月31日 資本金 / 2000万円
従業員数 / 30名 入会 / 1994年7月
紹介者 / (株)藤井調理部 社長 藤井 幸吉さん

業務内容・主力商品サービス

建設業:官・民・元請・下請・維持管理業務、運輸業:一般土木現場、舗装合材運搬、砂利運搬
舗装業:元請、前田道路営業事務所の舗装施工

あらゆる期待に応えられる企業へと成長したい



Q3:御社のビジネスの転機とは?

建設業はとても厳しい業界ですが、創意工夫や意識改革を行い、コストダウン・品質向上を目指して参りました。同友会の活動を通じて異業種の方々と情報交換を行い、互いの得意分野を活用しながら展望あるビジネスへと繋げていきたいです。

Q4:御社のこれからの抱負や目標をお聞かせください

依然として業界は低迷を続けており、受注の先行き不安、低価格入札など厳しい環境が続いています。これからは、維持管理業の充実や民間工事など、ゼネコン各社からの下請け工事の受注強化に力を入れると共に、組織改革を進め、社業発展に向けて全社一丸となって頑張っていきたいと思っています。

Q1:趣味はなんですか?

一仕事を終えて自宅で晩酌、また友人、家族で釣りやゴルフを行う事がとても好きです。

Q2:御社の魅力とは?

または御社にお仕事をお願いするとどんないい事がありますか?

当社は「勝美グループ」として、夏期は道路の維持管理(路面清掃、除草、交通事故発生後の緊急処理)、冬期は道々の除雪、排雪業務などを行い、建設業、運搬業、舗装業として多くの皆様にお世話になってきました。お陰様で社員同士の協調性や誠実さが培われ、ご満足いただくための速やかな対応を常に心がけています。ご用命の際にはいつでもお声がけください。

そしきクン(取材者)よりひと言

今回の取材訪問の日が雨で、何をお聞きしようかなど少々迷っているのを天に見透かされているようでした。ところが、社長の釜土様、専務の宮村様がとても温かく、私共の訪問を受け入れてくださり、建設業の現状の厳しさなどを具体的にお話された事に、驚きと同友会への信頼をお持ちのように感じ、心の雨が上がり、生でお聞かせ願いたい、そんな気持ちで勝美建設工業(株)を後にしました。

(有)内藤表具工房 代表取締役 内藤 英治